

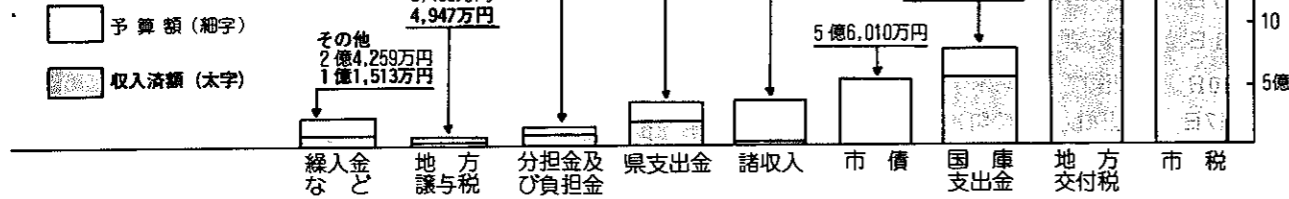
# 昭和57年度下半期の財政事情

## 一般会計予算総額は

61億6,000万円に

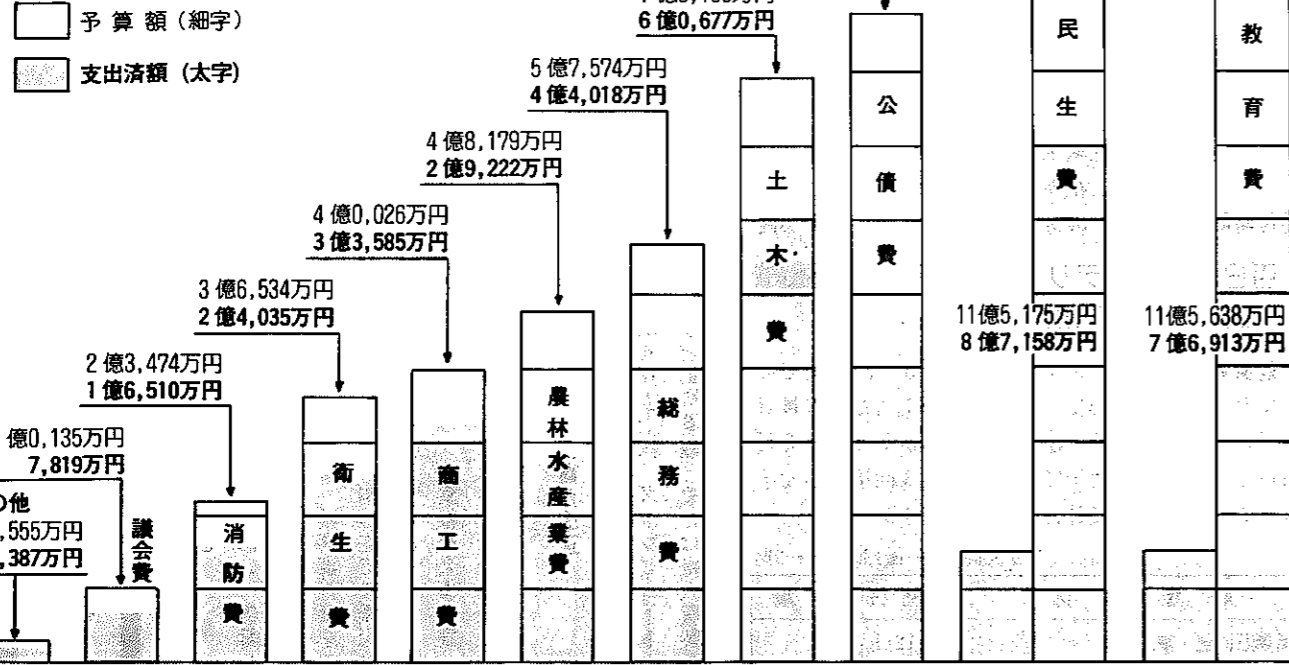
### 一般会計歳入 予算の執行状況

昭和57年12月31日現在

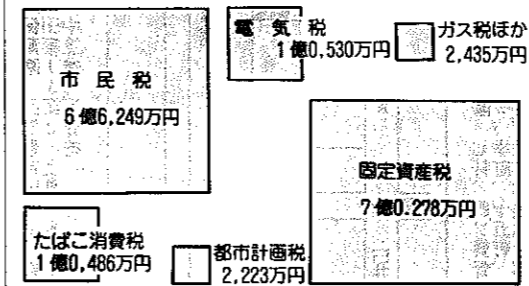


### 一般会計歳出 予算の執行状況

昭和57年12月31日現在



### 市税の内訳



### 市債現在高

市債は、市が大きな建設事業を進めるために借りたお金で、長期間にわたって返済されます。

【借入先】

大蔵省	35億5,959万円
市中銀行	22億5,345万円
公営企業金融公庫	6億7,930万円
郵政省	6億5,940万円
県貸付金	2,489万円
その他	1億7,851万円

### 【主な使いみち】

学校などの教育施設	22億0,426万円
市庁舎建設・道路整備	18億1,411万円
総合体育施設建設用地取得	12億2,844万円
地方交付税振替	9億2,397万円
地盤沈下対策・都市計画事業	6億1,330万円
保育園建設	3億3,754万円
職員退職手当	7,980万円
公営住宅建設ほか	1億5,372万円

### 市の財産

土地	491,673㎡	建物	85,884㎡
出資金	1,485万円		

## 一般会計の収支

収入66%・支出69%

市のお金がどのように使われ、行政が運営されているかを市民のみならずから知っていただくため、毎年年度途中に一般会計予算の執行状況を公表しています。このほど、その十二月末日までの状況がまとまりましたのでお知らせします。現在、国をはじめこの自治体でも厳しい財政のやりくりが強いいられています。当市でも三月一日号で取り上げたように硬直化が進み、柔軟性を持った行政運営が極めて難しい状態になっています。今後は、従来に増して経費の節減をはかるなど、市民のみならずのご協力をお願いしながら、財政の建て直しに努力をしていきます。

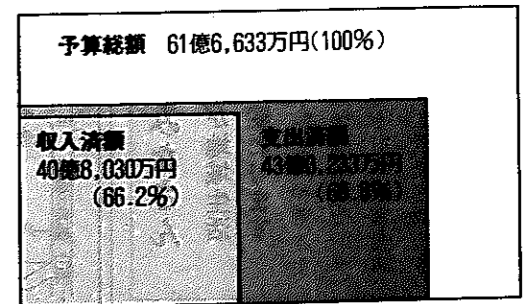
### 順調に事業

収入済額と支出済額を見ると、支出済額が上回っていますが、この不足分は銀行からの一時借入金でまかなっています。

五ページのグラフは、歳入、歳出の各費目別の予算額と収入、支出済額を表わしたもので、歳入については各科目とも、ほぼ予定どおりの収入となっています。

建設費用をもち込んだ教育費が予算の一八・八%を占め、予算額に対して六六・五%の支出率となっているのははじめ、民生費が七五・七%、土木費が七六・七%となっています。

### 一般会計予算の執行状況 (昭和57年12月31日現在)



### 73 市債総額は

市債は、市が大きな事業を実施するときに、国などから借り入れのお金です。これは七年二十五年という長期間にわたって返済していくもので、歳出の公債費がこの返済金です。

十二月末日現在の累積借入残高は、七十三億五千五百四十四万三千円、昨年度同期に比べ、七億二千六百七十七万二千円増えています。

### 主な歳出

- 小林小学校新築事業 四億二、三七七万円
- 大鷲小学校新築事業 一億五、五二〇万円
- 都市下水路整備事業 一億五、一〇〇万円
- 道路整備事業 三億三、六五三万円
- 農村総合整備モデル事業 (新飯田地域生活センター建設など) 一億八、七四〇万円
- 消防施設整備事業 三、九二四万円
- みの公園整備事業 四、九六五万円
- 街路整備事業 二、七三三万円
- 白根健康病院増築補助 一、〇〇〇万円
- 白根衛生センター組合負担金 二億一、五二四万円
- 白根地区消防事務組合 一億五、六六〇万円

